令和８年度　市長をかこむ会　千丈地区　R8.10.9　19：00～20：27　　場所：千丈地区公民館

出席者	住民	23人	市　大城市長・菊池副市長 政策推進課　山下課長補佐・井野係長

担当課	事項	要望内容等	かこむ会での回答
生涯学習課	旧松柏中学校体育館へのエアコン設置について	旧松柏中学校の体育館にエアコンを設置してほしいが、いつ頃になるか。	学校等のエアコン設置は順次計画を進めており、令和15年度までに市内すべての完了を予定している。 【補足】 「市長をかこむ会」での回答は、小・中学校の体育館を対象としたものである。 現在、旧松柏中学校の体育館は、社会体育施設として、市民の皆さまのスポーツ活動に利用されている。 現時点で社会体育施設の体育館にエアコンを整備する予定はない。 エアコンの整備には多額の費用がかかることから、施設の利用状況や避難所としての位置づけ、整備後の維持管理費などを総合的に考慮し、整備の必要性を判断する必要があると考える。
建設課	入寺川の浚渫について	入寺川の河床（小西鮮魚付近など）が上がっているため、解消してほしい。	小さな川の土砂堆積は30年豪雨以降市内の各地で問題となっている。管理者の愛媛県には早期実施を重ねて要望しているが、予算の関係もあって順次バランスよく対応してもらっている状況であり、引き続き要望していく。
生涯学習課・防災危機管理課	自治公民館制度の仕組み見直し・改善について	現在の自治公民館制度では防災用具などが遠くの公民館にあり、高齢化が進む中では取りに行くのが難しい。自治館制度を改め、地区ごとの公会堂等を使い、高齢者でも防災用具が取りに行けるようにしてほしい。また、直接千丈地区公民館などとつながって活動できる仕組みに改善してほしい。	地区住民の方々が一番いい形になるのがベストだと思っている。広報誌の配布さえ難しい地域も出てきているなど、時代の変化や高齢化に合わせた地区公民館・自治公民館のあり方を見直すべき時期にきている。いただいた意見を持ち帰り、大きな流れの中で研究・検討していきたい。 【補足】 現在、千丈地区には、プレハブ型防災倉庫を、千丈保育所、千丈小学校、旧松柏中学校、八幡浜高校、旧松柏中学校付近（予州鉄工所倉庫）、千丈地区公民館高野地分館の6箇所に設置している。各自治公民館は、自主的な緊急避難場所（施設）になっているため、今後、どのようなものが必要なのかは検討していきたい。
生涯学習課	マウンテンバイク（MTB）の指導者確保について	MTBコースやYMTB（八幡浜マウンテンバイクスポーツクラブ）の活動で子どもたちのレベルが上がっているが、指導者が不足しているため、地域おこし協力隊や市の支援（生涯学習課を通じた指導者派遣など）で確保できないか。	MTBの指導者については、市の方でも、勧誘したい相手はいるが、なかなかコンタクトが取れず前に進んでいないところがある。地域おこし協力隊の活用や、八幡浜のコースに魅力を感じて住み込みたい人材を探すなど、担当課とともに模索していく。
建設課	市道入寺線の道路拡張の要望について	高野地の集荷所から、みなの共選までの市道入寺線は道幅が狭く、運送や出荷に大きな支障が出ている。安全性と効率化のために道路を拡張してほしい。	全線の拡張は難しいが、危険な箇所や要望箇所を絞って一つずつ改修するよう建設課と協議している。みかんのまち、八幡浜を支えていただくところでもあり、重要な路線であるため、しっかりと準備をして対応していく。 【補足】 市道入寺線（市道松柏高野地線）については、これまでも地元からの要望に基づき道路の拡幅や修繕工事を実施している。しかしながら、全線の道路拡幅工事は困難であり、また、単区間の拡幅であっても工事費に加え、用地測量や分筆登記などに費用を要することから、容易に対応することが難しい状況であるが、本路線は高野地地区への重要な路線であるため、今後は、地元で必要性の高い区間を精査のうえ要望をいただければ、内容に応じて検討していく。

担当課	事項	要望内容等	かこむ会での回答
防災危機管理課	大雨時の具体的な雨量放送について	八幡浜市全体の避難放送では、自分の地区は避難するほどの雨量ではない場合、足腰の悪い高齢者がそのたびに避難するのは難しいので、地区の雨量や危険度に応じた、ポイントを絞った具体的な避難所開設等の放送をしてほしい。	雨量の予測は難しく、行政は危険性のある可能性がある場合は、早めに避難指示が出せるよう心がけている。「自分の命は自分で守る」早めの行動が基本だが、ご意見はよく分かるので、お年寄り向け等に防災無線での適切な連絡や判断を行っていく。
防災危機管理課	避難所運営のマニュアルについて	避難所での生活（屋外での炊き出しやテント等）に関する具体的な基準を作ってほしい。	一定の基準はマニュアル化されているが、実際の避難所運営は地域の自主防災会が主体となる方がスムーズである。細かなルールについては、地元の方々を含めて話し合い、決めていくのが一番だと考えている。 【補足】 昨年度から自主防災会を対象に避難所運営マニュアル作成の研修を行っているので、その研修内容も活用いただきたい。
保健センター・政策推進課	高齢者向け健康遊具の設置について	子どもだけでなく、高齢者が健康のために体を伸ばしたりできる健康遊具を、公民館の跡地等に設置してほしい。	子どもの遊具が減る一方で大人・高齢者向けの健康遊具を求める声は増えている。広場の活用や跡地利用の中でスペースの要望があれば検討する。
政策推進課	移住促進について	八幡浜市はだんだん人口が減ってきているが、市として、移住を促進する取り組みはしているか。	市の移住担当が移住フェアなどを通して熱心に取り組み、東京から若い女性の地域おこし協力隊が10月に2名着任した。また、地域おこし協力隊として移住してきた人たちが八幡浜の魅力をしっかりと発信してくれている。良い傾向だと思うので、皆さんにも報告していきたい。
建設課	空き家対策の現状について	放置空き家の対策がどうなっているか知りたい。	使えない危険な空き家は1件につき最大100万円の除却助成（年間30件）を行い更地化を進めている。使える空き家は空き家バンクを活用して希望者に売買されているため、まずは市に連絡してほしい。 【補足】 危険な空き家については、市民からの連絡を受け次第、現地確認および所有者等の調査を実施し、所有者に対して適正管理に向けた指導を行っている。具体的には、補助金を活用した除却を促すとともに、改善が見られない場合には法律に基づく行政指導へと移行している。 なお、除却補助金については、より多くの要望に対応するため、現在は交付枠を拡大し、年間35件を対象として更地化を強力に推進している。
市民課	未支給年金請求における窓口の案内方法	亡くなった人の未支給年金を別居の身内が請求する際、「第三者の証明」または「事実確認書類」のどちらでもよいことになっているのに、窓口で「第三者の証明が必要」と主に案内された。諦めてしまう人もいるため、どちらでもよいことを分かりやすく説明・案内するように窓口対応を改めてほしい。	普段から、職員にも相手の身になって考える 仕事をしてもらいたいというふうに思っている。市民の身になって考える対応ができていない部分があれば改善するよう上司にも伝える。詳細を確認の上、対応を改めたい。 【補足】 「生計同一関係に関する申立書」の申立内容の証明について、「第三者による証明」の他に「事実確認書類の添付」があることをもれなく説明・案内するよう徹底する。

担当課	事項	要望内容等	かこむ会での回答
学校教育課	小中学校統合後の方針について	小中学校の統廃合が落ち着き、統合の校長先生に話を聞くと、子ども達が仲良く勉強してくれているという返答に、何より嬉しく思っている。他に何か市の方へ届いている声はないか。	今届いている声としては、日土・真穴・保内地区の川之石も子どもの人数が少なくなっているのでどうするのかという声は聞いている。子ども達の成長に合わせた教育環境を考慮しながら総合教育会議等でじっくり検討していく。 【補足】 市では、令和10年度から令和19年度を計画期間とする第3次学校再編計画の策定のために、今年度から検討委員会を立ち上げ、今後の小学校の在り方について協議する予定である。 検討委員会では、児童数が極端に減少傾向の学校や複式学級の在り方について協議していく必要があると考える。 市としては、この検討委員会の協議結果を踏まえ、総合教育会議や教育委員会等での協議を経て、小学校の在り方についての方針を定めていきたいと考えている。
社会福祉課 政策推進課	松柏中学校跡地北側の道路・環境整備について	松柏中学校跡地（プール裏側周辺）の道路について、イノシシの被害もあり環境が良くないため道路整備をしてほしい。	プールの北側の道は、社会福祉協議会が入る関係で道路幅を4m確保できるよう拡幅（セットバック）や舗装を行う計画になっており、通りやすくなるようにしっかりと整備していく。